

# 農村振興部

## 農村計画課、都市農村交流課

---

# 農村計画課(11人)

## 【農山漁村の活性化等】

### ■ 中山間地域等での取組への支援

- 複数の農村集落の機能を補完する「農村型地域運営組織（農村RMO）」の形成等に対する取組（農地保全・地域資源活用・生活支援）を支援。



【高齢者の移動支援】

#### 〔農村RMO形成推進事業〕

- 地域の農用地保全のために必要な多様な取組を総合的に支援。〔最適土地利用総合事業〕

- 地域の地域資源を活用した商品開発や販売促進を実施し、所得・雇用の増大を図る取組を支援。

#### 〔山村活性化対策事業〕



【ヨモギの入浴用製品（岡崎市）】

### ■ 豊かなむらづくり全国表彰

- 農山漁村における「むらづくり」のモデルとなる優良事例を表彰し、その取り組みを広く紹介。



【R5年度受賞の押井営農組合】

## 【農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮への支援】

- 農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取決（協定）を締結し、それに従った農業生産活動等を支援（面積に応じ一定額を交付）。〔中山間地域等直接支払制度〕

#### 【主な交付単価】

| 地目 | 区分          | 交付単価（円/10a） |
|----|-------------|-------------|
| 田  | 急傾斜（1/20～）  | 21,000      |
|    | 緩傾斜（1/100～） | 8,000       |



【中山間地における棚田】

## 【優良農地の確保】

- 農地の総量確保のため、農業振興地域制度及び農地転用許可制度が適正に運用されるよう、県や市町村に対し助言・指導。

※ 両制度に係る事務は、地方分権により都道府県等に移譲。

- 優良農地の確保のため、荒廃農地の発生防止・解消等を推進。



【土地利用の区域分けのイメージ】

# R5年度選考採用 農村計画課 直接支払係長

## 今担当している業務は

・農業の生産条件が不利な地域に農業生産活動を継続するための支援を行う中山間地域等直接支払制度や中山間地域等の振興に資する支援にかかる補助事業の事務手続き、各関係機関との調整業務を担当しています。

## 農水省を志望した理由は

・前職から農業に携わる機会があり、農業者の高齢化や担い手不足は深刻な問題だと感じていました。その中で、自分自身も農業者を手助けするような仕事をしたいと考え志望しました。

## 職場環境はこんな感じ

・職場のみなさんは、優しい方ばかりで、わからないことがあれば懇切丁寧に教えて頂けます。また、担当班の中で食事会をするなど、仕事以外でもコミュニケーションを取っています。

## 選考採用を希望する方へのメッセージ

・入省される方は、農業関係とは無縁の方も多く、最初はわからないことも多いですが、上司、先輩が相談に乗ってくれます。民間企業での経験を活かし、新しい挑戦をしてみてください。

## 係長のとある1日

8:30



出勤

メール確認・資料準備  
各関係機関との担当業務に関するメール整理、打合せ資料の準備

11:00



打合せ先へ移動

東海3県の市町村及び協議会担当者  
と事前に訪問予定を組み、現地訪問。

12:00

昼食



13:00



市町村及び協議会担当者との  
打合せ

中山間地域等直接支払制度及び  
中山間地域等の振興に対する支  
援策のご紹介、意見交換等

16:30

打合せ概要の作成

意見交換等に対する概要作成、  
各関係機関への情報共有等

17:15

退勤

# R5年度選考採用 農村計画課 土地利用計画係長

## 今担当している業務は

・振興山村地域への支援策として、農山漁村振興交付金（山村活性化支援交付金）の募集から交付金額決定までの事務処理を担当しています。また、中山間地の支援策等も担当しており、地方自治体や協議会等の担当者と連携を取り、業務を担当しています。

## 農水省を志望した理由は

・社会人経験を活かし、新たな環境で、行政に携わる仕事を通して、成長していきたいと考えていました。その中でも、国民のため、未来の子供たちのために、食と環境に携わる仕事がしたいとの思いから、農水省を志望しました。

## 職場環境はこんな感じ

・職場環境は風通しの良く、皆さんが優しいので話しかけやすい雰囲気があり、分からないことがあれば気軽に質問できるため、疑問や不安を抱え込むことがありません。人材育成のための研修などもあり、成長できる環境が整っていると思います。

## 選考採用を希望する方へのメッセージ

・新たな環境で働くことは不安もありますが、それ以上に希望が上回るのであればチャレンジすべきだと思います。あとは、いつチャレンジするか。国家公務員として働くことに魅力を感じていて、チャレンジする気持ちが少しでもあるなら、そのタイミングは今です！！

## 係長のとある1日

8:30



出勤

メールの確認  
・本省への報告  
・各担当者とのやりとり

10:00

書類整理  
・各担当者から提出された書類  
や報告書類のチェック等

12:00

昼食



13:00



市町村等の担当者と打合せ  
・市町村等の担当者とオンライン  
会議により、交付金請求手続きの  
流れや注意事項を周知・確認

15:30

打合せ内容のまとめ  
・打合せ内容を記録し、疑問点  
の解消、提案内容まとめ

17:15

退勤



## 【農山漁村の活性化等】

### ■農山漁村振興交付金■

地域の創意工夫による活動の計画づくりから農業者等を含む地域住民の就業の場の確保、農山漁村における所得の向上や雇用の増大に結びつける取組の発展段階に応じて総合的に支援し、農林水産業に関わる地域のコミュニティの維持と農山漁村の活性化及び自立化を支援。

### 農山漁村イノベーション対策

#### ＜農山漁村イノベーション推進事業・整備事業＞

##### ・直接採択事業

- (1) 地域活性化型
- (2) 農泊推進型
- (3) 農福連携型



##### ・間接補助事業

- (4) 農山漁村イノベーション創出支援型
- (5) 農山漁村イノベーション産業支援型



## 【六次産業化・地産地消法に基づく 総合化事業計画の認定】

・地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（以下「六次産業化・地産地消法」という。）に基づく「総合化事業計画」の認定を行い、認定事業者に対し事業計画期間中のフォローアップを実施。

## 【地産地消の推進】

- ・県及び市町村に対して六次産業化・地産地消法に基づく「地産地消促進計画」の策定を推進
- ・農産物直売所の優良事例の収集・紹介



⇒ 直売所訪問記

## 【ディスカバー農山漁村(むら)の宝】

・「強い農林水産業」、「美しい活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信。

また、東海農政局として地方版も選定。

令和5年度 優秀賞  
(ビジネス・イノベーション部門)



株式会社デイリーファーム（愛知県）

## 今担当している業務は

交付金事業の「農泊推進事業」を担当しています。  
東海3県の農山漁村において、地域資源を活用した食事・宿泊・体験プログラムを整備して、国内外の観光客を増やし、地域の活性化と所得向上を実現する取組を支援しています。

## 農水省を志望した理由は

食育に興味をもったことがきっかけです。食育について調べていたときに、未来の子どもたちのためにできることを提案し全力で行動する、という農水省のビジョン・ステートメントに共感し、民間企業での経験を活かして、農政に関わりたいと思い志望しました。

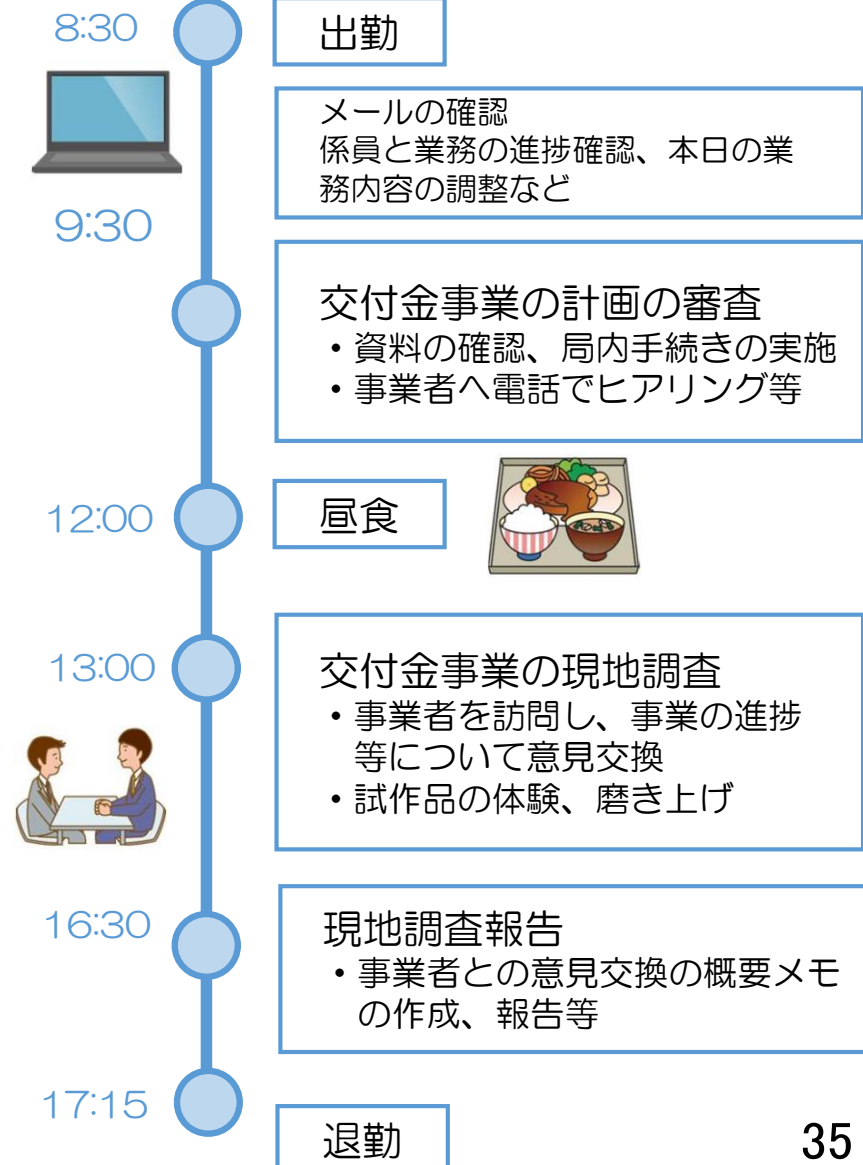
## 職場環境はこんな感じ

令和5年度に新設された課ですので、職員のバックグラウンドが様々でいろいろな方面からの意見も聞けて参考になります。少人数でアットホームな雰囲気な課ということもあり、提案や意見もしやすく新しいことにもチャレンジしやすいです。

## 選考採用を希望する方へのメッセージ

国の施策を推進するにあたり、「農泊推進事業」は地域密着型で農林漁業者等を直接支援をすることができます。実際に農山漁村を訪問し、意見交換をすることで、書類だけではわからない生の声を聴くことができます。一緒に農山漁村を盛り上げていきませんか。

## 係長のとある1日



# 統計部

生産流通消費統計課、経営・構造統計課

---

# 生産流通消費統計課（10人）

## 【農林水産物の生産実態の把握】

生産流通消費統計課では、主に農業の生産基盤になる耕地や農林水産物の生産実態を把握するための調査を所管しています。

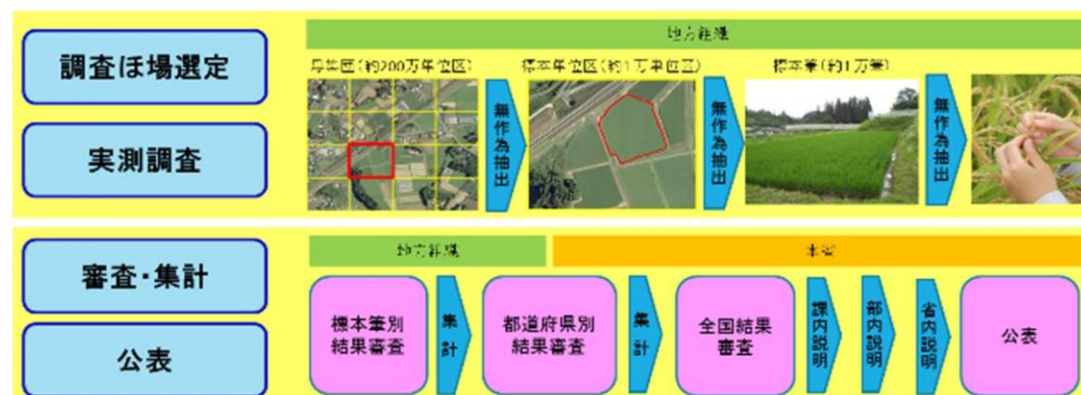
## お米の豊凶を予測する — 水稻収穫量調査 —

全国で約1万箇所のほ場を実測調査し、水稻の作柄や収穫量を明らかにしています。

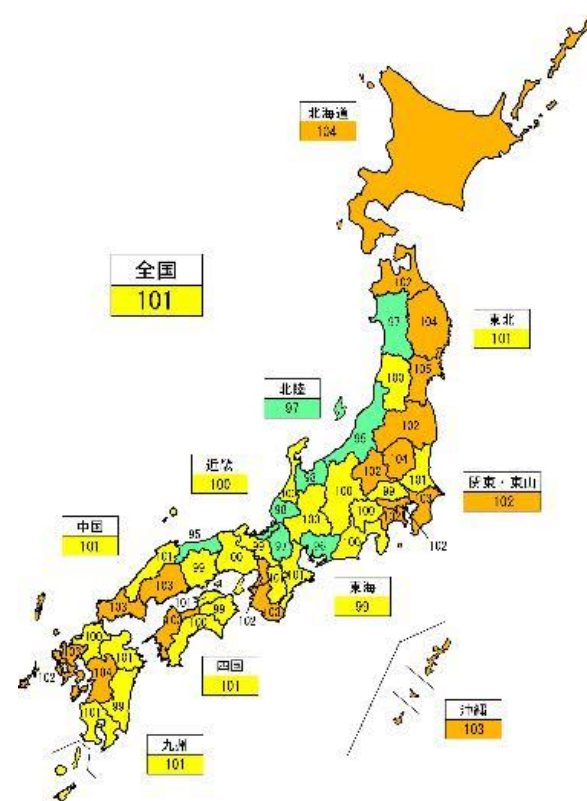
地方組織の職員（調査員）が調査ほ場を選定して、実測調査を行います。

収穫が行われる前に実施する調査（8月、9月、10月）は、穂数、もみ数など実測可能な項目を計測し、実測不可能な項目は気象データと過去の実測データを基に予測した上で、10アール当たり予想収量を決定します。

収穫期に実施する調査は、稲を刈取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後、選別を行い、その重さを計測し、10アール当たり収量を決定します。



令和5年産水稻の作況指数（概数値）  
（「令和5年産水陸稲の収穫量」より）





## 選考採用者 インタビュー

### R 2 年度採用 生産流通消費統計課

流通消費統計係長のAさん



#### 生産流通消費統計課で担当していた業務は？

食肉となる牛や豚の取引頭数や卸売価格のほか、豚、採卵鶏、ブロイラー（肉用の鶏）の出荷頭数などを把握し取りまとめる統計調査を行っていました。所属していた課ではほかに、米、畑作物、果樹や花きなどの作付面積や収穫量に関する各統計調査を行っています。



#### 農水省を志望した理由は？

子どもたちの将来に食の安心安全を繋いでいくため、自分にも貢献できることがあればと思い志望しました。



#### 職場環境について

統計部はベテラン職員が多く所属していることもあり、分からないことがあってもすぐに皆さんに相談できる恵まれた環境で仕事をしていました。現在は昭和区安田通にある安田庁舎と呼ばれる場所で執務していますが、建設中の新庁舎が完成次第、そちらに引越す予定です。



#### 皆さんへのメッセージを

各種制度が充実しており男性の育児休暇取得にも理解がある職場です。私には小さな子どもがいますが、子育て中の方でも安心して働ける環境が整っていると思います。ぜひ選考採用試験に応募してください。

#### 生産流通消費統計課での とある一日のスケジュール

9:15

出勤

メールを確認し、作業依頼、業務を確認を行う。

10:00

管内の調査客体の集計・取りまとめを行い、前年同月や前月と比較して大きな変動がみられる場合は、必要に応じて食肉卸売市場等へ報告データの照会等の情報収集を実施。

12:00

昼食

13:00

調査結果を本省へ報告するにあたり、報告書類と併せて説明用資料の作成を行う。

17:00

作成した書類や資料について、上司に確認いただき、内容確認等を行う。

18:00

退勤



## 各課紹介

# 経営・構造統計課（11人）

【農林水産業に関する経済面の統計を作成及び農林漁業の実態等を把握するため調査を実施】

経営・構造統計課は、①農山漁村・地域の実態の把握、②農林水産業従事者の構造の把握、③農林漁業経営の把握等の調査を所管しています。

### 農林漁家の経営状況、農畜産物の生産コストを明らかにする — 農業経営統計調査 —

地方農政局や都道府県拠点において職員や調査員が実施しています。

調査は農家の年間を通じた協力に支えられており、調査現場における農家との信頼関係で成り立っています。

また、調査対象から得られたデータは、当年の作柄や生産事情などに照らして審査を行い、正確な調査結果を取りまとめています。



#### 農業経営統計調査

##### 営農類型別経営統計

水田、畑作、野菜作、酪農、肉用牛など13営農類型別に農業経営の実態を把握

##### 農畜産物生産費統計

農業経営体における農畜産物（米、麦、大豆、牛乳、肉用牛など）の生産費（コスト）の実態を把握

～ 令和4年の農業産出額 ～  
愛知県が全国8位、岐阜県が29位、三重県が31位

### 農業産出額の全国順位 （令和4年）

単位：億円

| 順位 | 都道府県 | 農業産出額  |
|----|------|--------|
| 1  | 北海道  | 12,919 |
| 2  | 鹿児島  | 5,114  |
| 3  | 茨城   | 4,409  |
| 4  | 千葉   | 3,676  |
| 5  | 熊本   | 3,512  |
| 6  | 宮崎   | 3,505  |
| 7  | 青森   | 3,168  |
| 8  | 愛知   | 3,114  |
| 9  | 栃木   | 2,718  |
| 10 | 長野   | 2,708  |
| ⋮  |      |        |
| 29 | 岐阜   | 1,129  |
| 31 | 三重   | 1,089  |

## 選考採用者 インタビュー

R 3 年度採用 経営・構造統計課 経営第1係長のAさん

### 今担当している業務は？

営農類型別経営統計調査の審査、取りまとめ、照会等の付随業務。また、営農類型別経営統計調査および農畜産物生産費統計調査の標本リストの管理（脱落・選定）の業務を中心に行っています。

### 農水省を志望した理由は？

これまでの社会人経験を活かして農林水産全般の業務に携わり、貢献したいと考え志望しました。

### 職場環境について

課内のメンバーで協力しながら仕事に取り組んでいます。担当業務を中心に遂行していくこととなりますが、上司や先輩方も既に経験がありますので、相談しながら業務に取り組んでいます。

### 皆さんへのメッセージを

転職となるとこれまでの経験と違う業務に取り組むこともあるかもしれませんが、心配しなくてもマニュアルが整備されていますし、課内の方々と協力して仕事を進めていくので大丈夫です。ぜひ応募してみてください。

## とある一日のスケジュール

9:00 出勤

メール確認・書類整理  
営農類型別経営統計調査の報告状況を確認して、課内で進捗状況を共有。そして、報告分の調査票を確認しながら、審査業務を行う。



11:00

調査票の審査業務。  
各県拠点（岐阜、愛知、三重）からの問い合わせに対する対応。

12:00

昼食

13:00

審査した際の、照会内容を整理して、各県拠点毎に取りまとめ、課内担当者と打合せを行う。



16:00

報告を受けた調査内容について、各拠点へ照会をかける。また、照会の回答報告を受けたものの確認作業も同時に行う。

17:45 退勤

# 愛知県拠点

---



# 愛知県拠点(20人)

## 【現場と農政を結ぶ業務】

地方参事官やそのスタッフが担う「現場と農政を結ぶ業務」では、都道府県内の各地域にくまなく出向き、①「農政を現場に伝える」、②「現場の声を汲み上げる」、③「現場と共に解決する」という役割を担っています。

### ◆ 現場と農政を結ぶ業務に求められる役割

#### ①「農政を現場に伝える」

都道府県、市区町村、関係団体、農業者・事業者、消費者等に対して、農政の重要情報を周知し、現場で政策が有効活用されるよう、働きかけを行っています。

#### ②「現場の声を汲み上げる」

都道府県や農業団体等の幹部、農業者等と定期的に情報交換を行い、地域が抱える課題等を把握し、本局・本省に情報共有を行うとともに、現場での課題解決に繋げています。

#### ③「現場と共に解決する」

地域の課題に対して国の事業・制度を的確に紹介する等により、主体的に課題解決に取り組んでいます。

愛知県拠点(地方参事官室)組織図及び管轄区域  
(令和6年4月1日現在 現在員数20名 (54市町村 38市、14町、2村))

地方参事官(愛知県担当)

【地方参事官室】

総括・管理担当 (6名)

尾張西部・海部地区担当(3名)

尾張東部・知多地区担当(3名)

西三河地区担当(3名)

東三河地区担当(3名)

分析担当(1名)

尾張西部・海部地区

西三河地区

尾張東部・知多地区

東三河地区



